

令和4年度 第1回学校運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和4年5月16日(月) 15:00~16:40
- 2 開催場所 岩手県立大東高等学校 会議室
- 3 参加者 校外委員8名 校内委員4名 校内事務責任者1名
- 4 次第 別紙資料表紙の通り
- 5 学校概要説明(説明は資料のとおり)
質問なし
- 6 協議(説明は資料のとおり)
 - (1) 本協議会の設置目的及び活動概況について・・・質問なし
 - (2) 役員選出
会長、副会長を1名ずつ
 - (3) 令和4年度 学校経営計画について
<質問>
目指す学校像(2)取り組み方針のイのキャリア、オの地域活動は校内的にどこが行っていくのか。(H委員)
<回答>
キャリア教育も地域活動(探究活動)も進路指導課を中心にと考えているが、実行していく際には学年や関係課との連携が必要である。
 - (4) 大東高校スクールポリシー策定について
<質問>
志願者を増やすためには良い試みである。他校に比べて特にアピールしたいところはどのへんなのか。(E委員)
<回答>
出口指導(グラデュエーション・ポリシー)だと考える。普通科・情報ビジネス科とも出口の補償をしっかりとしていきたい。また、中学生へのアピールの仕方について、在校生の中で、各中学校の卒業生にも協力を得る、などの工夫をしたい。教員だけでなく、身近な人たちからのアピールは重要だと考える。
 - (5) 令和4年度学校行事について ……質問なし
 - (6) その他 ……質問なし
→(3)(4)について承認
- 7 その他
第2回は9月26日(月)~30日(金)を予定。15:00~と考えているが、授業参観していただく場合は時間が早まることもある。
●各参加委員より
<A委員>
子供3人とも大東高校の卒業生。地域の方に育ててもらえるため、大東高校は良い印象である。
<B委員>

X 中は近隣の高校に進む生徒が多い。今年は Y 中も少なかった。中学校への説明の際は、卒業生の活躍を伝える機会があっても良いのではないか。

<C 委員>

近隣の高校に進学する理由に、「電車に乗りたくないから」という理由も見られるようだ。高校も地域も地元に残すための話し合いを持たなければ。地域も頑張りたい。

<D 委員>

家族全員大東高校出身である。地元中学校の保護者の話では、大東高校はちょっと暗いイメージがある。町自体にそういったイメージがあるのではないか。一関市内への憧れもあるようだ。地域ぐるみの活性化が必要である。

<E 委員>

「友人が〇〇高校に行くから」「〇〇高校には〇〇部があるから」などの理由で近隣の高校を選ぶ傾向もあるようだ。地元の学校はメリット（落ち着いて学習できる、安心感、金銭面、移動時間等）があるはず。志願者を増やすツールとして「だいたいメール」を活用してはどうか。約2000人登録。大東高校の良さを伝えるために生徒の文章を入れるとなお良いのではないか。

<F 委員>

息子が卒業してから大東高校の活動を見る機会が減った感じがしている。自分からHP等に見に行かなくとも目に入る方法があっても良いのでは。子供へのアピールも大事だが、親に伝わる情報発信も大切である。また、高校選びには、単独で団体戦に出場できない、など部活動の問題も大きい。

<G 委員>

逆の発想で、西磐地域へのアピールを強めたらどうか。市内からこちらに来て落ち着いて勉強したい子もいるのではないか。部活動についても鹿踊部の演舞発表を一関市内で行い中学生にアピールしてはどうか。

<H 委員>

生徒の奪い合いではなく、人を集めることが重要。WEB サイトやパンフレット等でのアピールの仕方を工夫することが必要。また、町で、刺激を作ることも大切。ガチガチの進学指導だけではなく、様々な職業人を呼び生徒と交流する機会をもってはどうか。